

腹圧性尿失禁

1. 概念・病因

尿失禁とは「尿が不随意に漏れる愁訴（国際禁制学会用語基準¹⁾」と定義され、腹圧性尿失禁、切迫性尿失禁、混合性尿失禁、遺尿、夜間遺尿、その他の尿失禁とに分類されます。その中で腹圧性尿失禁は、「労作時または運動時、もしくはくしゃみまたは咳の際に、不随意に尿がもれる」という愁訴です。女性の腹圧性尿失禁は、出産による骨盤底筋群の脆弱化、尿道過可動などに起因することが多いとされています。男性では腹圧性尿失禁は少ないとされていますが、根治的前立腺全摘後などにみられることがあります。混合性尿失禁は、腹圧性尿失禁に尿意切迫感、切迫性尿失禁を伴うものです。

2. 診断のポイント

腹圧性尿失禁の症状は、腹圧が加わる咳やくしゃみ、重いものを持ち上げるなどの動作時に尿がもれることです。通常は、安静時、臥床時などには尿はもれません。腹圧性尿失禁の診断で有用なものは「ストレステスト」です。患者さんに碎石位（お産をするときの体位）のとれる診察台に乗っていただき、膀胱内に生理食塩水を 250～300ml 注入します。その状態で患者さんに怒責や咳をしていただき、尿道口から生理食塩水の漏出を確認する方法です。生理食塩水の漏出があればストレステスト陽性とし、腹圧性尿失禁と診断できます。

また、「尿失禁定量テスト（パッドテスト）」は腹圧性尿失禁での尿失禁量を他覚的に評価する方法です。国際禁制学会で提唱されている方法は、500ml の水を 15 分で飲み、あらかじめ重量を測定した Pad を外陰部に装着する。その後、30 分の歩行、階段の昇降、椅子に座る動作（10 回）、咳（10 回）、1 分間のランニング、腰をかがめてものを拾う動作（5 回）、1 分間流水で手を洗うなど、一連の動作を行って再びパッドの重さを測定します。2g 以上の失禁があれば陽性と判断します。

3. 治療方針

腹圧性尿失禁に対しては、比較的症状の軽いものでは骨盤底筋訓練のような行動療法が行われます。骨盤底筋訓練は、骨盤底筋群を構成している肛門挙筋、肛門括約筋、尿道括約筋などを収縮させる方法です。パンフレットやビデオなどの指導材料を利用しながら、肛門や膣を 10 秒程度収縮、その後 20～30 秒程度リラックスする、という訓練を 1 日に 50～100 回行います。

ストレステストやパッドテストが陽性の、中等度以上の腹圧性尿失禁に対して

は、外科的手術を選択します。

4. 治療の実際（処方の場合）

腹圧性尿失禁の治療は、年齢、社会的活動性、失禁の程度によって様々です。比較的失禁量が軽度で、患者さん本人が失禁に困っていない場合は失禁用の下着の着用やパッドを装着するだけで経過を見ることもあります。骨盤底筋訓練は、上述の通り骨盤底筋群を構成している肛門挙筋、肛門括約筋、尿道括約筋などを収縮させる方法ですが、パンフレットやビデオで指導されても訓練を個人で行う時は、その方法の習得が不十分なこともあって、訓練の効果が出にくいという場合もあります。中等度以上の腹圧性尿失禁に対しては、歴史的にも様々な方法（筋膜スリング手術、恥骨後式膀胱頸部挙上術など）が行われてきましたが、1996年にTVT手術²⁾、2001年からはTOT手術³⁾が行われるようになり、腹圧性尿失禁に対して比較的侵襲で行える外科的手術が普及してきました。TVT手術にしてもTOT手術にしても、ポリプロピレンのメッシュテープを中部尿道の背側に置くことによって、腹圧がかかった場合に中部尿道が閉鎖されることで尿禁制が得られる、とされています。

参考文献

- 1) 本間之夫、西澤理、山口脩. 下部尿路機能に関する用語基準：国際禁制学会標準化部会報告. 日本排尿機能学会雑誌, 14 : 278-289, 2003.
- 2) Ulmsten U, Henriksson L, Johnson P, Varhos G : An ambulatory surgical procedure under local anesthesia for treatment of female urinary incontinence. Int Urogynecol J, 7 : 81-86, 1996.
- 3) Delorme E. Trans-obturator urethral suspension minimally-invasive procedure for the treatment of stress urinary incontinence in women. Prog Urol 2001, 11 : 1306-1313

TOT 手術について

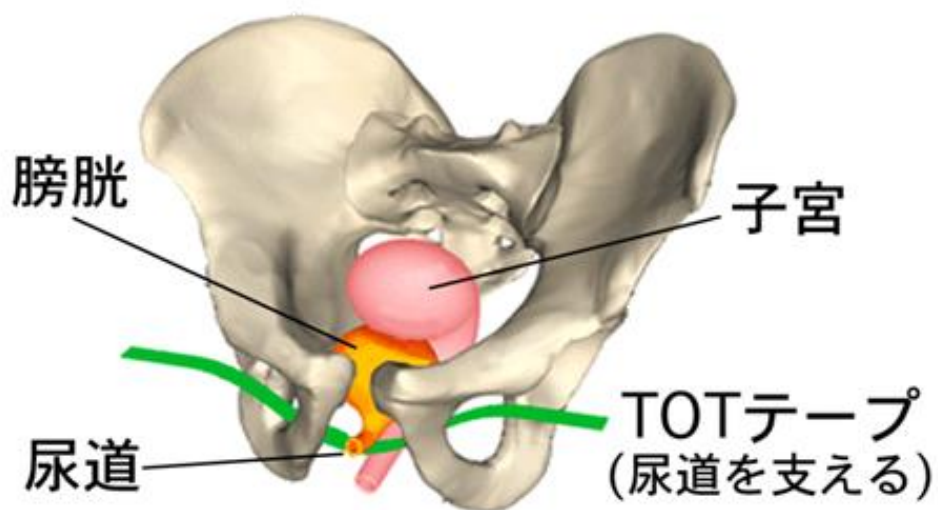
腹圧性尿失禁に対して尿道の下にポリプロピレン製のテープを置く手術

TOT : Trans-Obturator Tape : 閉鎖孔を通すテープ

Trans : 経

Obturator : 閉鎖孔

腹圧がかかった時に、尿道が下に動きにくくするための支持テープ



TOT手術